

第5次枕崎市総合振興計画スタート②

生活環境・都市基盤・産業経済は、このように取り組みます

先月号では、第5次総合振興計画の「策定の意義」、「性格と構成」等についてお伝えしましたが、今月号から来月号の2回にわたって、計画の基本構想に掲げた将来都市像「人と物が豊かに交流し、協働で築く活力創造都市」を達成するための計画の柱の概要についてお伝えします。

計画は、生活環境、都市基盤、産業経済、健康・福祉、教育文化、行財政の6つの柱で構成されていますが、今月号では、生活環境、都市基盤、産業経済の3つの柱についてお伝えします。

1 安全で潤いのあるきれいなまちづくり(生活環境)

- ① 快適な住まいづくりの推進
 - ・ 社会状況の変化や地域の特性に応じた住環境の整備や市民参画のもと市民の憩いの場となる公園緑地の整備に努めます。
- ② きれいな水環境の整備
 - ・ 安全で良質な水の安定的な供給に努めるとともに、災害に強い水道施設の整備や施設の効率的な維持管理を進めます。
 - ・ 公共下水道計画区域内の早期完成と合併処理浄化槽の普及により、市内全域の水洗化を促進します。
- ③ 環境にやさしい社会の実現
 - ・ 更なるごみの減量、資源のリサイクル、エネルギーの有効利用などを推進し、循環型社会への転換を目指して地球温暖化防止に努めます。

2 快適で便利な拠点性の高いまちづくり(都市基盤)

- ① 計画的な土地利用の推進
 - ・ 本市の特性や課題に対応する望ましい土地利用を進め、秩序ある都市空間を計画的に形成していきます。
- ② 求心力のある市街地の形成
 - ・ 人々が集い、楽しみ、憩える空間として、文化の薫り高く快適な市街地の形成を進めます。
 - ・ 駅周辺地域は、公共交通や観光の玄関口としての機能に加え、市民の利便性が高い拠点としての整備に努めます。
 - ・ 漁港区域は、既存の集客施設の充実などを進め、新たな集客機能の創出に取り組みます。
- ③ 道路交通ネットワークの整備
 - ・ 南薩縦貫道の整備促進や高速交通体系へのアクセス機能などの広域的な幹線道路ネットワークを整備するとともに、道路拡幅や改良を推進します。
 - ・ 生活道路については、安全性、快適性、利便性の確保とともに、良好な景観の形成を図りながら、市民の協力を得て計画的な整備と効率のかつ利用しやすい管理に取り組みます。
 - ・ 生活路線バスやJRなどの公共交通については、関係機関との連携のもと、利用促進に努めます。
 - ・ 空港については、機能維持に努めながら、多面的活用に向けた取り組みを継続していきます。
- ④ 質の高い情報通信機能の整備
 - ・ 多様なメディアを活用した情報交流を活発化させ、産業活動の振興やコミュニティ活動の展開などを促進します。
 - ・ 保健・医療・福祉や生涯学習、防災など市民生活の様々な分野で活用できる情報システムを整備し、豊かで快適な市民生活の実現に努めます。

3 人と物が交流し、活力みなぎるまちづくり(産業経済)

- ① 地域経済をリードする水産業・水産加工業の振興
 - ・ 地元船の水揚げ増大対策や経営安定対策、後継者対策等を進めます。
 - ・ 資源管理型漁業を推進し、沿岸漁業の収益性を高める施策を展開します。
 - ・ 開港された枕崎漁港の利点を最大限に活用し、海外まき網船等の外来船の受入れの推進や漁港機能の高度化を計画的に進めます。
 - ・ 後継者対策や外国人研修生の受入れなど、官民一体となって水産加工業の経営安定化に努めます。
 - ・ 外国船の誘致を積極的に進め、加工用原魚の安定確保や関連企業の誘致を推進します。
 - ・ 安全性の確保や既存商品の高付加価値化・差別化の戦略を推進します。

- ② 地域に根ざした農林業の振興
 - ・ 生産基盤の整備や多様な担い手の育成、経営体質の改善等を行うとともに、安全・安心な農畜産物の生産を振興し、高品質で生産性の高い農林業の確立を目指します。
 - ・ 地産地消や食農教育の推進、農産品食材の加工・直販などに

- ③ 豊かな地域社会を支える商業の振興
 - ・ 中心商業地については、市街地の再整備とあわせて、都市型サービス業をはじめとする商業・業務・文化施設の誘導、整備を図り、集客力の向上に努めます。
- ④ 雇用環境と就業環境の充実
 - ・ 多様な就業機会の創出や新規雇用につながる支援体制を充実

- ⑤ 地域の魅力を発信する観光の振興と地域間交流
 - ・ 海を背景とした魅力ある観光資源を生かすつつ、近隣市町等と連携した広域観光ルートの形成を進めます。
 - ・ 本市特有の海の幸、山の幸を素材とした食の観光開発や地域産業と連携した個性的な産業観光の振興を図ります。

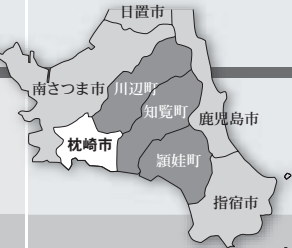
- ⑥ 地域間の連携を深めながら、新産業や新事業の創出や企業誘致を積極的に推進し、業種の多様化と雇用の増大を図ります。
- ⑦ 焼酎製造業をはじめとした工業については、官民一体となって原料確保対策や産学官連携の推進、販売促進活動の実施などを進めます。
- ⑧ 関係機関との連携を深めながら、新産業や新事業の創出や企業誘致を積極的に推進し、業種の多様化と雇用の増大を図ります。

・ 第一次産業や芸術文化、スポーツなどの体験を健康づくりにつなげる体験・滞在型の観光など、より多くの観光客・交流客が訪れる新しいタイプの観光振興を展開し、「食と健康の観光地」の形成を目指します。

なお、第5次枕崎市総合振興計画の全文につきましては、今後、市のホームページに掲載するなど、市民の皆さんにお知らせしていきます。

◎企画調整課企画調整係
TEL 7 2 1 1 1 1 内線 2 2 5

合併情報



南薩3町との法定合併協議会参加への事前協議申し入れについて

市では、南薩3町(額姪町、知覧町、川辺町)との合併へ向けて取り組んできましたが、これまでの経過及び今後の方針について説明します。

市町合併につきましては、今日まで、市民の皆様と並々ならぬご支援を賜り感謝申し上げます。

去る2月1日の「南薩3町任意合併協議会への参加申し入れ」が見送られて以降、今日まで情報収集に当たると、何とか早い時期に3町との合併協議に参加できるよう根気強く努力してまいりました。

そして、6月26日には、多くの方々のお力添えをいただきながら、再度、南薩3町任意合併協議会会長及び3町に対し、法定合併協議会参加への事前協議について、強くお願いしてまいりました。

しかし、既に新聞報道等でご承知のとおり、結果として、南薩3町任意合併協議会としては、額姪町、知覧町及び川辺町の3町による合併協議を最優先して進めたいなどの理由により、私どもの申し入れを受け入れてもらえるまでには至りませんでした。このことは、誠に残念であり、今回、市民の皆様の期待にこたえられなかったことに対し、大変申し訳なく思っております。

しかしながら、これまでの国の動きや、少子・高齢化への対応、地方分権の進展などを考えた場合、このまま単独でやっていくことは大変厳しい行財政運営を強いられることが予想されます。

したがって、私としましては、合併への考え方・方針に変わりはありませんし、今後とも、来るべき次のステップへ向けて行財政改革を徹底しながら、足腰の強い、力強いまちづくりに取り組むとともに、市民の意向を踏まえながら、任期の中で、次の機会に対等な合併ができるよう、最後まで努力してまいります。

今後とも、皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

枕崎市長 瀬戸口嘉昭